

平成22年度学校運営目標

和歌山市立日進中学校

1 教育目標（校訓）

みがきあい真剣に生きる 自主・自立の気概、ねばり強い意欲、豊かな情操

21世紀は自立と共生の時代と言われている。子どもたちは、世界中の人々とも、共に認め合い、助け合って生きていくことになる。そのため、自らの個性を磨き、何事に対しても真剣に取り組む生徒を育成する。

2 重点目標

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| (1) あいさつをかわす | 「おはよう」「さようなら」を徹底させる。 |
| (2) 学校をきれいにする | 清掃作業を徹底させる（教師の指導と点検） |
| (3) 正しい生活習慣を身につける | 時間を守り、服装を正しくさせる |
| (4) 進んで学習に取り組む | 授業に集中させる（よく分かる授業の創造） |
| (5) 根気強く実践する | 当番・係活動に責任を持たせる（反省と点検） |
| (6) 相手の立場に立てる人間になる | 他人の痛みをわからせる |

3 努力点

- (1) あいさつのできる学校 (2) きれいな学校 (3) 遅刻生徒が少ない学校

4 努力目標及び具体目標

項目	努力目標	具体目標
魅力ある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが安心して中学校生活を送れるよう、楽しい学校づくりに努める。 ○生徒一人ひとりが「学び合う授業」に取り組むとともに、学習意欲を高める様々な活動を推進する。 ○生徒が主役となる学校行事を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつのできる学校、きれいな学校、遅刻生徒が少ない学校に全職員が取り組む。 ○学校評価や授業評価による工夫・改善を図り、信頼される学校づくりに努める。 ○学校支援ボランティアの活動を支援し、地域と学校との連携に努める。 ○文化祭をはじめ、校内陸上競技大会など、生徒が楽しめる学校行事の充実に努める。
確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科の基礎的・基本的事項を明確にし、学ぶ意欲を重視した確かな学力を育成するため、対話をキーワードにした授業改善に努める。 ○生徒自身が自らの生き方を考え、将来についての目標を持ち、自分の良さを発見し、主体的に進路を選択できる力を養う。 ○総合的な学習の時間には、学び方やものの考え方を習得したり、主体的な判断力や解決力を身につけるなど、生きる力を育成する取組を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを持って意欲的に発言し、友達の意見を取り入れることで、より幅広く深く考えることができる生徒を育成する授業づくりを推進する。 ○各教科等で充実する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意見や考え方などを出し合う場面を可能な限り設定する。 ・言語に関する能力を育成するとともに、言語活動を充実する。 ・体験的な学習や問題解決的な学習を重視する。 ○特設同和、性教育、進路、環境、職業体験、文化祭など、総合的な学習の時間の充実に努める。

項目	努力目標	具体目標
同和 教育	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的人権を尊重する民主的な人間を育てる。 ○部落問題をはじめとする人権問題の解決に積極的に取り組む人間を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自尊感情を育てる取組を機会あるごとに実施し、充実する。 ○特設同和を年間3回設定するとともに、教材の開発に努める。また、感想文等を活用した事後指導を充実する。 ○地区懇談会の参加人数を増やす方策を検討し、より充実した内容で実施する。
豊かな 心・ からだ	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭との連携を図り、生命を大切にす る心や他人を思いやる心、善悪の判断な どの規範意識を身につけさせる取組を充 実する。 ○生徒の体力の向上や保健衛生、健康教 育の推進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の基本的な生活習慣の確立に努める。 ○食の教育を通じて、健康・安全に留意し たり、生活習慣を見直す機会を充実する。 ○「心のノート」や道徳副読本などを活 用した指導方法の工夫改善に努める。 ○体力の向上を図る様々な活動を重視す るとともに、スポーツに親しむ機会を充 実する。 ○性教育週間を設定し特設授業を行うな ど、性教育の充実に努める。
生徒 指導	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの生徒に充実感、満足感を 持たせるとともに、信頼関係を大切にす る学級づくりに努める。 ○集団の中で、自主性や連帯感を養い、集 団の質を高め、阻害される生徒をつくら ないように努める。 ○深い愛情を持って積極的に生徒とふれ 合い、信頼関係を深め、学校生活に楽し さと充実感を持たせるように努める。 ○対話をキーワードにした生徒指導に 努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級単位で取り組める内容を充実すと ともに、楽しい魅力ある学級づくりに 努める。 ○いじめを許さない集団づくりに努め るとともに、いじめをなくそうデーの 取組を充実する。 ○全教職員一致した生徒指導体制を確 立し、指導に努める。 ○教育相談週間を設定し、生徒一人ひと りの心情や悩みを聞き、適切な助言を するとともに、教育相談部会の充実に 努める。 ○「ソーシャル・スキルトレーニング」 や「エンカウンター」を活用した実践 を積み上げる。
生徒 会 活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会活動を活性化させながら、「自分 たちの学校は、自分たちでつくる。」と いう自主、自立の精神を培う。 ○生徒一人ひとりが主体性を持って積 極的に諸活動に参加し、仲間意識に支 えられた自主的な実践力を強める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会が主体となる全校集会等を企 画するとともに、学校行事等への参画 を促進する。 ○生徒会新聞の発行や地域防犯活動へ の参画、あいさつ運動などの「呼びか け運動」を積極的に進める。 ○各専門委員会の活動を充実すると ともに、主体的な活動が実践できる、 その時間の確保に努める。
特別 支 援 教 育	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態把握に努め、特別な支援 を必要とする生徒の存在や状態を確か め、適切な支援策を検討する。 ○全職員の理解のもとに校内における 特別支援教育体制の充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別指導学級では、生徒の能力に応 じたカリキュラムを作成し、個人指導 に重点を置くとともに、通常学級との 交流を深める。 ○生徒（LD、ADHD等を含む。）の適 性や能力に応じた指導の充実に努める。 ○特別支援教育校内委員会を機能的 に充実し、特別支援教育の推進に努 める。